

**平成 23 年度 第 14 回
算額をつくろうコンクール 作品募集要項**

参加資格	特にありません（参加費無料）
題材・大きさ	問題の題材は自由です。必ず B4 判の用紙を使って下さい。
申し込み先	実践女子学園中学校・高等学校 数学科 光永文彦 宛 〒150-0011 東京都渋谷区東 1- 1- 11 E-mail : mitsunaga-fumihiko@jissen.ac.jp Tel 03 - 3409 - 1771 Fax 03 - 3409 - 1728 作品の算額の裏に、学校名・学年・氏名を記入した紙を貼って、上記の申し込み先へお送り下さい。
申し込み締切	平成 24 年 1 月 20 日
先生方へ	学校単位でまとめてご送付下さい。個人の場合は直接お送り下さい。
審査委員長	岡本和夫（東京大学名誉教授）
発表方法	入賞者へお知らせすると共に、ホームページ上で作品・氏名・所属を発表いたします。また、成績優秀者は江戸東京博物館で行われる「第 15 回 和算にまなぶ」で表彰します。なお、優秀作品は神田明神に算額として奉納いたします。 但し、応募いただいた作品は、特定非営利活動法人 和算を普及する会に帰属し、返却いたしません。
参考資料	『算額道場』 研成社 〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町 1-6-4 Tel 03-5300-7302 ホームページ / http://www.kenseisha.net/

参考 第 14 回 和算にまなぶ 日時 平成 23 年 10 月 9 日（日） 10 : 00～15 : 50

内容 [午前の部] 10 : 00～12 : 00

○「第 13 回算額をつくろうコンクール」表彰式

○「算額をつくってみて」 金賞受賞者

記念講演 「一編集者が出会った数学のおもしろさ」 和算研究所理事 亀井 哲治郎

[午後の部]

13 : 00～14 : 00 「数学に関わる者の業績と社会的な役割 -磯村吉徳、関孝和、建部賢弘、

西田明則、藤沢利喜太郎を中心として-」 お茶の水女子大学教授 真島 秀行

14 : 10～15 : 10 「『大原の定理』から和算家・大原利明へ」 日本数学史学会運営委員長 小寺 裕

会場 東京都 江戸東京博物館（JR 総武線两国駅西側改札口より徒歩 3 分）


参加費 500 円（資料代）高校生以下は無料（申し込みは特に必要ありません）

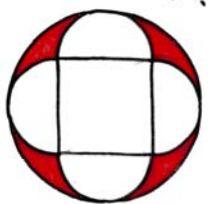
算額の一般的な書式は次のようになっています。これまでの「応募作品の例」などを参考に
にして、はっきりと見やすい字でいねいに、美しく仕上げてください。(鉛筆は不可)

	術 答	問題文
名前	図	奉 納
平成 年 月 日		

※ 答えや術をつけて下さい。

生徒作品例

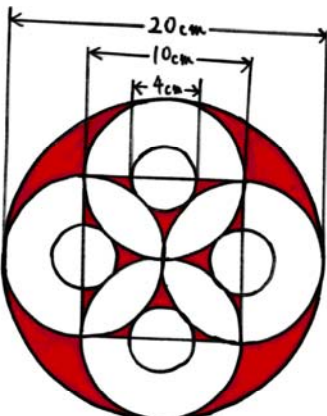




術 答
($100 - 8\pi$) cm^2

まず外側の部分だけを考える。
 $10^2\pi - 5^2\pi \times 2 = 10^2\pi - 50\pi = 50\pi - 100 \dots \textcircled{1}$
 次に内側の正方形の内側を考える。
 $(10^2 - 5^2\pi - 2^2\pi) \times 2$
 $= (100 - 29\pi) \times 2$
 $= 200 - 58\pi \dots \textcircled{2}$
 最終的に $\textcircled{1} + \textcircled{2}$ を計算。
 $50\pi - 100 + 200 - 58\pi$
 $= 100 - 8\pi (\text{cm}^2)$

平成〇〇年〇月〇日
 〇〇〇〇



(円周率はπとする)

次の図の赤い部分の合計面積を求めなさい。

奉納